

学校の沿革

- 明治 9年 ・ 啓蒙小学校が本村に開設される。
- 11年 ・ 常盤小学校と改称する。
- 20年 ・ 日土尋常小学校と改称（4年制）。新道・森山の2尋常小学校を設置する。
- 42年 ・ 6年制の小学校に改める。新道と森山の尋常小学校を分校化する。
- 44年 ・ 日土尋常高等小学校と改称、高等科（2年制）を併設する。
- 大正 6年 ・ このころ、いちょうを植える。
- 昭和 3年 ・ 尾の花分校落成、新道より移転。
- 16年 ・ 日土国民学校と改称、初等科、高等科を置き、義務教育8ヵ年となる。
- 22年 ・ 学制改革により日土小学校と改称、高等科は新制中学校として発足する。
- 23年 ・ P T A発足、初代会長 大森茂氏。
- 26年 ・ 二宮金次郎銅像寄贈される。
- 27年 ・ 尾の花分校が独立し、日土東小学校となる。
- 28年 ・ 校歌制定（作詞 菊池政広 作曲 宇都宮義秋）。
- 31年 ・ 中校舎、新築落成（松村正恒氏による設計）。
- 33年 ・ 東校舎、新築落成（松村正恒氏による設計）。
- 36年 ・ 森山分校を廃し本校に統合する。
- 40年 ・ 給食センターによる完全給食開始。
- 41年 ・ 各教室に白黒テレビ設置。
- 42年 ・ プール落成。
- 51年 ・ 開校百周年記念式典挙行。新しい校旗制定。記念碑、各教室にカラーテレビ設置。
- 平成 6年 ・ パソコン教室開設。
- 8年 ・ 屋内運動場落成。
- 16年 ・ 台風18号による被害(東校舎廊下の屋根・資料室破損、窓ガラス・窓枠破損)。
・ 新校舎建設準備委員会発足
- 17年 ・ 八幡浜市立日土小学校再生計画検討委員会発足。
- 21年 ・ 西校舎改築工事終了・ 東・中校舎改築工事終了
- 22年 ・ 西校舎林野庁長官賞受賞。
- 24年 ・ ワールド・モニュメント財団／ノールモダニズム賞受賞。
・ 東・中校舎が国の重要文化財指定（戦後木造建築として初）。
- 26年 ・ 日土東小学校を閉校し、本校に統合する。